

発寒ひかり
保育園だより

2022年
9月号

巻頭言

「夜泣きをする」「後追いが激しい」「ご飯を食べてくれない」「イヤイヤがすごい」…子育てをしていると様々な悩み直面します。「いつまで続くのだろう」と頭を悩ませていると「いつか終わる日が来るよ」「その悩みも懐かしく思える日が来るよ」と言われたことがある方もいるのではないのでしょうか。私も数年前に言われたことがあります。「でも大変なのは今なのに」とモヤモヤしたことを覚えています。しかし、数年経った今の私は、その悩みを懐かしく、そして少し羨ましくも感じています。

【乳児はしつかり肌を離すな。幼児は肌を離せ、手を離すな。少年は手を離せ、目を離すな。青年は目を離せ、心を離すな】
ネイティブアメリカンの「子育て四訓」という言葉です。少年・青年期はまだ先のように感じると思いますが、あつという間に子どもは大きくなります。子どもの自立のために、親は少しずつ体を離さなくてははいけません。成長は喜ばしいことです。手が離れていく子どもに、親としては正直寂しく感じます。今年度は、感染症の影響でまだ一部しかできていませんが、三年振りにファミリー懇談会を実施しています。実施したファミリーの保護者から「他のお母さんたちと自分も同じような悩みがあることを知り、距離が近くなったような気がしました」などの感想があり、同じ時期の子育てをしている仲間が身近にいることを感じていただけたのではないかと思います。

たった数年の「肌や手を離すな」の大切な乳幼児期を過ごしている仲間の保護者や職員と共に悩み、喜び、「大変だったけど、懐かしい」と思える日まで一緒に子育てをしていきましよう。

副主任保育士 笛木 菜未